

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：中本高夫 編集責任者：南 順三 印刷所：東京印刷株式会社



30期の役員の皆様、本当にお疲れさまでした！
そして去・来・現から創生へ



今月のワンショット

30期役員の皆様には、感謝の気持ちを込めて、そして31期役員の皆様には、今後の期待を込めて、写真を取らせていただきました。



2004年度6月例会 開催！



平成17年6月15日(水)、米子コンベンションセンターにて6月例会が開催された。中本会長は今期を振り返り『みんなに支えられこの1年間無事終えられた』と挨拶された。引き続き新入会員2名へのバッジの授与が行われた。

その後、1年間の実績・成果を発表する第30期委員会報告が行われた。盛大な拍手とともに自ら選んだ個性豊かなBGMに乗って各委員長が入場し、委員会報告を行った。共に活動してきた委員会のメンバーも暖かく委員長を出迎えていた。さすがにどの委員長も発表には力が入り、中には持ち時間をオーバーしてしまう姿も見られた。

続いて、第31期武海会長より「創生」というスローガン、「成功より成長」というテーマの発表があった。その後、新理事も壇上に上がり次年度へ向けての各々の抱負を語った。壇上に上がり緊張しているようであったが、見ている我々にとって、とても新鮮に感じられ新たにスタートする第31期の中央会活動を期待させるものであった。

第30期委員会報告

総務委員会

30周年記念パーティーの準備で「結束」が固まったという総務委員会。忘年例会、レクリエーション例会など年間5回の実業を見事なチームワークで乗りきった。増井委員長は1年間の活動を通して、委員のメンバーは「達成感」という心のオアシスを見つけたと締めくくった。

人づくり委員会

人材育成が委員会テーマの人づくり委員会は、さまざまな新しい取り組みにチャレンジした。担当例会では会員参加型のワークショップを開催。委員会メンバーによる新入会員オリエンテーション。メンバー自ら企画制作した会議運営手法のDVDなど、まさに「手づくり」で「人づくり」を行った1年だった。

まちづくり委員会

一年間「創」と言うテーマのもとに活動してきて、まちづくりをする為には、境港市・米子市及びその近郊市町村の企業が成長・発展しなければ、市町村の発展も無く、その市町村の連携が必要不可欠で、我々中小企業が儲からなければ町も発展しない。

経営委員会

『視点を変える。基盤を作る。発展させる』をテーマに活動して、各会員企業の活動が理解出来、誰もがこだわりを持って仕事をしていることが分かり、この感激を皆さんに伝えたいと思い『必殺仕事人』企業紹介CDを作成し、委員会活動を中央会会員におすそ分けが出来た。

政治行政委員会

「米子市の未来像をさぐる」というテーマの下に、合併協議会の傍聴や市会議員との議論を通し、米子市財政が逼迫していることがわかり、また合併により地元企業の活性化と県外資本の流入が必要であることを認識した。

それを踏まえ提案書を観光・起業班に分かれて作成し、米子市長に上程した。

国際交流委員会

委員会テーマを「文化の違う交流」と据え、「地域内での国際交流」と「海外での国際交流」に別れて検討した。

今年は人的交流だけでなく、食文化でも「水餃子を囲んで」と台紙、水餃子作りを通して交流も行った。

また、中国大連氏経済交流研修を行い、経済発展と環境破壊が同時進行していること、ビジネスでは最良のパートナーを見つけることが大事であること、実際に現地に足を運び、自分の互換で判断することが必要であることを感じた。

エコチャレンジ2004委員会

E M菌とエコと言う観点から、色々とする事はあったが、E M菌だけですごく勉強になり、皆さんにE M菌という物を知ってもらい、E M菌を皆さんに配る事も出来た。中海再生プロジェクトに参加し、メディアに取り上げてもらい、エコというキーワードがすごく感心を持たれている事が良く分かった。

会員拡大特別委員会

中央会で初めて行われた会員拡大の為の委員会であるが、当初よりノルマを設けずのびのびと活動できたのが25名というすばらしい成果につながった。

協力いただいた副会長、各副委員長はもとより会員の皆様に感謝するとともに、入会された方が楽しみながら自分を育てていってほしいと思う、と締めくくられた。

メディア・コミュニケーション委員会

30期からメディア委員会と広報委員会が1つになったメディア・コミュニケーション委員会。周年事業、市民メディア交流大会発表などの活動のほか、ハンサムのカラ印刷、ホームページのリニューアルを行うなど、今後の西部青年中央会の広報の進むべき道をつけた。

第31期年度方針発表

- スローガン…… 「創生」新しく創りだす喜びを皆と感じていきたい。30年の歴史と伝統の上に新しい歴史と伝統を積み上げていく。
- テーマ…………… 「成功より成長」
- 活動キーワード… 「日々勉強し、よき友を持つ。これに勝る楽しみは無い」「結果のみを求めず、経過を重視する。失敗を恐れるな」「知行合一」「守・破・離」「感謝と尊敬」
- 具体的目標と施策… 「会員拡大」「有益な情報を迅速に提供」「各委員会の活性化」

武海次年度会長は、会員のなすべき行動・方向性を簡潔且つ明瞭に示され、その発表する堂々とした姿は決意と自信に満ち溢れていた。

委員会構成と委員会行動指針の発表後、最後にこう締めくくられた。

「可能であるならば常に最善を求めよ。そしてそれは常に可能である。」

会場をこたますその力強い言葉は、会員1人1人の心にも響き渡り、来る31期への誓いを皆が心に刻みこんだ瞬間であった。



第31期理事抱負



続いて、次年度理事が紹介され、抱負を熱く語られた。「新しいメディア広報の確立をめざす。(メディアコミュニケーション委員会 河津委員長)」「人・街・環境に対し提言を継続して行う。(みらいづくり委員会 門脇委員長)」「政治行政を理解し、ビジネスチャンスの糸口をみつける。(政治行政委員会 村岡委員長)」「会を通じて地域経済の活性化を図る。(ビジネス交流委員会 板垣委員長)」「新司法制度の解明・考察および啓発。(司法問題研究委員会 堀江委員長)」「定例の会の遂行、会員交流に注力する。(総務委員会 中田委員長)」「中央会のより良い将来像を考え、施策する。(ビジョン検討委員会 花園委員長)」

各理事の発言に、会場からは温かい拍手が送られ、次年度活動への期待が一層高まるものとなった。

ホームページ講習会開催



平成17年5月30日と6月3日の両日、株式会社サソメディア パソコン教室において、ホームページに関する取り扱いの講習会が開催されました。

内容は今回新しくリニューアルされたホームページの説明と各種更新システムの取り扱いについて、平新委員長らの講師による説明のもと、参加した会員の方々も熱心に聞き入っていました。

今までのホームページの良い部分は残しつつ、明るく誰もが親しみやすくなりました。中でもメインは「TSC-west ビジネス街」です。ここでは会員それぞれの企業の紹介を行っており、更新は個々で行うことができます。新着情報などもリアルタイムで情報を出すことができ、今後どんどん活用していただきたいと思えます。今回リニューアルしたホームページはほんの木の幹だけであり、今後枝葉をつけていくのは会員の皆様全員です。

中海クリーン作戦

昨年、エコアジア2004が米子市で開催されたのを契機に、開催1周年にあたる6月に、環境に対する関心を継続させるべく開催されました。

その中で、西部青年中央会もエコチャレンジ2004委員会という環境対策の委員会を設置していることもあって6月19日(日)に湊山公園で行われた、鳥取県・米子市主導による中海クリーン作戦に参加してきました。

当会からは中本会長をはじめ、エコチャレンジ2004委員会を中心として13名でボランティア活動を行いました。

朝8時30分に集合し、1時間半にわたって湊山公園周辺の海岸を清掃しました。きもちよい青空の中、ほとんど草類でしたが海岸漂着物をゴミ袋14袋いっぱいには清掃しました。

途中メディアの取材を中本会長が受けておられましたが、「こりゃ中央会のノボリでもあるとPR効果抜群だなあ。」と話しながら清掃をしました。

今回は中本会長がお子さんを連れてこられていましたが、子どもにもいい影響があるとおもうので、家族ぐるみで参加できるような声掛けによって、もっとボランティアの輪が広がってほしいと思いました。



政治行政委員会 提案書上程



平成17年6月29日(水)米子市役所において、政治行政北口委員長より野坂米子市長に提案書「観光都市米子を目指して」が手渡された。当会より北口委員長をはじめ中本会長、松原会員、岩崎会員の4名が出席し、米子市の活性化のために民と官が協力し合っていくことと意見交換が行われた。話の中で米子市のシンボルキャラクター作成の必要性や米子市の街並みをテーマとしたフォトコンテストの開催などさまざまな提案がなされた。冒頭で北口委員長が話された通り、この提案書はまだ第一のステップにすぎない。我々はもっと地域を知り更なるステップアップを目指し、中央会としてもどのような取り組みが出来るのかを今後も継続して考えて行く必要がある。

平成17年6月29日(水)米子市役所において、政治行政北口委員長より野坂米子市長に提案書「観光都市米子を目指して」が手渡された。当会より北口委員長をはじめ中本会長、松原会員、岩崎会員の4名が出席し、米子市の活性化のために民と官が協力し合っていくことと意見交換が行われた。話の中で米子市のシンボルキャラクター作成の必要性や米子市の街並みをテーマとしたフォトコンテストの開催などさまざまな提案がなされた。冒頭で北口委員長が話された通り、この提案書はまだ第一のステップにすぎない。我々はもっと地域を知り更なるステップアップを目指し、中央会としてもどのような取り組みが出来るのかを今後も継続して考えて行く必要がある。

トライアスロン活動報告

AS部 福田 一哉

長い間親しまれてきた、西部青年中央会のトライアスロンへの取り組みの原点である団体ボランティア部。今年から「AS部」と名称を改めた。エードステーションを受け持つのだから、わかりやすい方がよいという理由である。

そのASも、近年、参加人数等の関係で、西部青年中央会単独での運営が難しくなり、他団体と共同で運営したりしている。

そこで本年は、是非以前の活気と形を取り戻そうということで、ボランティア部の畠山部長にもお願いした結果、タニシASを単独で受け持つことになった。ボランティアの方も皆さんのご協力により、なんとか集めていただいた。中村OB会長をお願いをして、気合も入れていただいた。あとは、英知・友愛・団結をもって、先輩方から脈々と受け継ぐAS部魂を遺憾無く発揮し、1年生のAS部なのだから、本当に初々しく、活き活きと、選手の方から「タニシは良かった」と言っていたASを全員で作りに上げることを、ここに誓いたい。

マラソン部 水 康徳

6月4日のポスター貼り、同月25日の備品洗い両作業に青年中央会から多くの会員に参加していただきました。両日とも天候に恵まれ、炎天下の中、爽やかな汗と一緒に流していただきました。ご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

道路沿いにポイント看板が並んでいる光景はいよいよ本番という気持ちにさせられます。当日までに完了しなければならない作業はまだまだありますが、ひとつひとつ確実に粛々と準備を進めていきます。

大会を万全の体制で迎えられるようにするのはもちろんですが、我々マラソン部は“楽しく”というキーワードで活動を行なってまいります。つらい事や苦しい事を楽しくする工夫もトライアスロンに携わるものには必要だと考えています。

西部青年中央会会員の皆さん、トライアスロンを楽しみましょう。

6月度委員会報告

総務委員会

平成17年6月3日(金) 於：米子食品会館 1F中ホール 出席者/13名
議題/総会、卒会式、懇親会について

メディア・コミュニケーション委員会

平成17年6月8日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/17名
議題/6月担当例会、ハンサム、ホームページ、30周年記念誌、2004年度委員会報告、卒会寄稿文集について

人づくり委員会

平成17年6月9日(木) 於：大連 出席者/14名
議題/新入会員オリエンテーションの反省、DVD(会議やらいや!)完成試写会

まちづくり委員会

平成17年6月8日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/9名
議題/6月例会委員会発表のデモンストレーション

経営委員会

平成17年6月9日(木) 於：ヤマデン 出席者/12名
議題/企業紹介土岐会員(西米商事)、山本会員(ヤマデン)

国際交流委員会

平成17年6月8日(水) 於：米子ニューアーバンホテル 出席者/8名
議題/研修会について

政治行政委員会

平成17年6月11日(土) 於：岩崎館 出席者/13名
議題/観光アンケート集計の件及び、提案書の内容について

エコチャレンジ2004委員会

平成17年6月13日(月) 於：海潮園 出席者/11名
議題/1年間のEM菌活動報告について

会員拡大特別委員会

平成17年6月6日(月) 於：海潮園 出席者/7名
議題/30期入会会員を集めて懇親会

※役員報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
※詳細については各委員長までご参照ください。

去

今年度(30期)でのハンサム発行もこれが最後となってしまいました。これが発行される頃にはすでに31期が始まっています。今期は「去・来・現」という事で、過去の事を様々な形で紹介してきたつもりです。そして、30期もすでに過去の事となってしまったわけですが、節目の年ということもありこれからの中央会のあり方や方向についての足がかりが少し見えたような気がしたのは私だけでしょうか。

様々な活動を紹介する上において、やはり中心となるのが委員会であり例会です。近年、いや、ずっと常に言われ続けてきたのが魅力ある委員会活動や例会のこと。それにより出席率の向上が図れ活動が活発化するということでした。ある方が言われました。「委員会に来たくない人は来なくてもいい。」と言われたことがあるそうです。しかし、結果的にはその委員会には多くの方が出席されたそうです。おそらく目標がしっかりと定められ、自分たちが何をしなくてはならないか、それぞれにおいて理解して活動が行われていたのではないのでしょうか。簡単に言うならば、そこには自分のしっかりとした居場所があったということでしょう。誰もが新入会員の時、何かしっくりこない感覚があったのではないのでしょうか。今後は、私たちの活動の中で出席率の向上ということが永遠のテーマとならないよう、お互いが理解し合って大きなものを目標に目を向けた活動を行いたいものです。

来

西部青年中央会創立30周年という記念すべき年が終わろうとしている。

我々会員は、この30周年事業をどのような志で行動してきたのだろうか?自分自身に問いかえしたとき、『過去と未来を荷負い現在に行動する』、いわゆる去・来・現の精神がそこに位置すると考える。

もともと『去・来・現』は、仏教典の中にある言葉であるが、最近では、1985年5月8日、ドイツ敗戦40周年にあたって、リヒャルト・フォン・ヴァイツェッカー大統領が連邦議会で行った演説の中で、「過去に目を閉ざす者は現在にも盲目となる」と述べているが、その意味と同様と考える。

「過去の様々な事象を自らがしっかりと認識し、子や孫、私たちの地域の将来を考え、今、この時を、私一人が行動していく。」このことが皆で決めた『自律』の2文字に込められた願いである。そして、個の自律の連鎖が、組織の自律へと繋がっていくことを確信する。

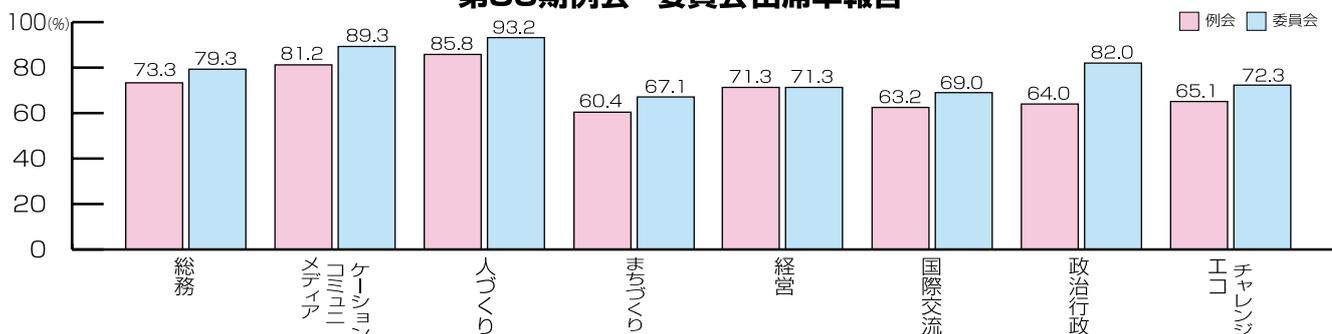
期間限定、45歳までの青年中央会活動を、会員と共に汗をかき、会員と共に成長しあえる場であることを願う。

現

西部青年中央会に入会して一年と四ヶ月が過ぎた。初年度は諸先輩方にたくさんのアドバイスをいただきながら様々な活動に積極的に参加することを心掛けた。そして、一年が経過した今も充実した中央会活動が続いている。中央会に入会できたことで異業種の方々と接する機会も増え視界が広がり、そして卒会された先輩の方々とふれあいお話を伺うことで見識を高めることができ、私にとって中央会とはまさに自己研鑽の場であり英知と友愛を深める場になっている。更に加えるならば「一生の友人ができる場」でもある、とさえ感じている。

私が今思うことは、「全ては己の志ひとつ」であること。これからも中央会活動を通して志高く、たくさんの出会いと仲間を大切に、そして積極的に自己を磨き立派な経済人となり支援いただいている会社へ一日も早く恩返しをしたいと思っている。

第30期例会・委員会出席率報告



7月新旧役員会報告

7月定例役員会が平成17年7月1日(金)、ホールサムインかいにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・7月通常総会開催の件
- ・8月例会開催の件

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

7月例会案内

と き:平成17年7月14日(木) 18:30 開会
 ところ:米子全日空ホテル
 内 容:通常総会、卒会式、懇親会
 担 当:新旧総務委員会

おめでとうございます

御誕生

渡辺一徳会員

5月11日

次女 鈴(りん)ちゃん

H17.06入会

(推薦者) 小原 康



景山 周二

(株)きさらぎ ぶんぶん堂統括マネージャー-米子店長
 文具・事務用品販売・OA機器・オフィス用品販売他
 〒683-0801 米子市新開2-4-1
 TEL 34-0008 FAX 34-0038

〈コメント〉

6月に入会してから、メディアコミュニケーション委員会で、すぐに担当委員会を経験し、行動力と団結力のすごさを感じ、私もはやくこの中に加わるようにしたいと思いました。今まで異業種の方々と交流する機会はほとんどなく、入会を機にいろいろ勉強させていただきたく思います。そして、年代の違う方々との交流も楽しみです。中央会の一員として、少しでも力になれるように努力いたします。これからよろしくお願いたします。

H17.06入会

(推薦者) 高橋 隆



高井 賢一

(有)松友 飲食業 店長
 〒683-0041 米子市茶町7番地 石川ビル1F
 TEL 38-1530 FAX 38-1531

〈コメント〉

はじめまして、6月より中央会に入会させていただきました。まだ中央会という場が、どのような活動をしているのか、ちゃんとした知識を持っておりませんが、中央会での活動を通して同業種はもちろん、たくさんの方々と交流を深めていき、学ばせていただきたいと思います。中央会という場が、自分の人生にとっても、社会にとっても大きな場所となるよう、努力、邁進していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。